

大田区・大田区産業振興協会・三井住友銀行連携企画 おおたSDGs未来都市の実現に向けて ～新産業を創造・発信するまち 環境イノベーション～

大田区羽田イノベーションシティ(HICity)

大田区はSDGsの達成に向けて優れた取組を提案する都市として、内閣府から2023年度の「SDGs未来都市」に選定されるとともに、その中で特に優れた先導的な取組を行う「自治体SDGsモデル事業」にも選定されました。

此度、SDGs推進に向けて、川崎市及び品川区と地域連携し、ご推薦頂いた企業による環境をテーマにした公民連携リバースピッチを三井住友銀行と連携して開催致します。

開会 (受付開始 13:15～)				
14:05	挨拶	大田区長	鈴木 晶雅 氏	
セッション1 基調講演				
14:10	大田区 企画経営部 SDGs未来都市推進担当課長	佐藤 達生 氏	テーマ	大田区のSDGsに関する取組
14:40	大田区 資源環境部 部長	山田 良司 氏	テーマ	大田区の環境に関する取組
セッション2 企業によるリバースピッチ				
14:50	大崎電気工業 株式会社	株式会社 寺岡精工		
16:30	株式会社 新興化学	東洋製罐グループホールディングス 株式会社		
	株式会社 ちとせ研究所	富士通 株式会社		
セッション3 締めの挨拶				
16:30	株式会社 三井住友銀行 公務法人営業第一部 部長	林 孝敏 氏		
17:00	リアル会場では終了後登壇企業及び自治体関係者との名刺交換会を開催			

開催日 2025年12月10日(水)

定員 現地100名 Web(Zoom)200名 **参加無料**

時間 14:00～17:00
(13:15 受付開始)

参加申込 下記サイトまたは右記から、参加登録を
お願いいたします。



<https://globalinfo.smbc.co.jp/area/cl/24710/f9OGH3H7ci0D/M?S=lcla4q>

会場 天空橋駅直結
HANEDA × PiO交流空間
PiO PARK(ZONE K 2F)

※お申込み時にご提供いただいた個人情報は、共催者で適切に管理いたします。

申込期限 **定員に達し次第締切**

共催 大田区、公益財団法人 大田区産業振興協会、株式会社 三井住友銀行

後援 関東経済産業局、川崎市、品川区、羽田みらい開発 株式会社、株式会社 みらいリレーションズ(全て予定)

大崎電気工業 株式会社 ソリューション事業部 副事業部長兼事業統括部長 小野 信之 氏

プレゼン
テーマ

“電気の新常識を創る“エネマネ新事業「SmaRe:C」とは？

電力高騰の時代に、“電気代0円時間”を味方につける新事業「SmaRe:C」。創業100年の大崎電気が、守りの電力管理から攻めのエネルギー経営へ。初期投資ゼロで電気代削減と脱炭素を両立する新常識を紹介します。

株式会社 新興化学 専務取締役 小野寺 宏 氏

プレゼン
テーマ

私が思うSDGs

会社を引き継いで以来、年々縮小していく日本国内の製造業界での中小企業の生産活動において、どのように持続可能な社会を実現していくべきかを考えてきました。
先代から続いてきた工場を見渡し、現代に見合った工場にしようという思いで実施してきた経験談をテーマにお話したいと思います。

株式会社 ちとせ研究所 Tech&Biz Develop Div. Principal BioEngineer 坂東 浩二 氏

プレゼン
テーマ

小さな生き物が世界を変える～産業をバイオ化するちとせグループの挑戦～

ちとせ研究所は、微細藻類、動物細胞、土壌細菌、腸内細菌といった小さな生き物の力を利用し、あらゆる産業をバイオ化し、千年先まで豊かな社会を築こうとしています。その夢を実現するために、多くの産業パートナー、行政の方々、そして研究機関と共同しながらプロジェクトを進める姿を紹介します。

株式会社 寺岡精工 執行役員 渡邊 直浩 氏 海外事業統括部 北野 岬 氏

プレゼン
テーマ

「量り売りで、サステナブルなお買い物を新しい常識に」

寺岡精工は2025年で創業100周年を迎え、「Grow with Green」の理念のもと、環境配慮型の製品やDXソリューションを全事業部で展開しています。今回は数あるSDGsへの取り組みの中から、プラスチック削減や食品ロス対策など、環境負荷の低減に貢献する「量り売り」についてご紹介いたします。

東洋製罐グループホールディングス 株式会社 イノベーション推進室 リーダー 蛭田 美穂 氏

プレゼン
テーマ

紙コップの水平リサイクル(CUP to CUP)を目指す

燃やすゴミとなっている紙コップも回収の仕方次第で資源となります。東洋製罐グループの東罐興業では紙コップを製造販売しており、使用後のリサイクルについても推進しています。
航空会社やスポーツチームとの取り組み、現在行っている品川区との「しながわシティラボ」での回収・リサイクルの実証実験について紹介します。

富士通株式会社 総務本部 環境統括部長 濱川 雅之 氏

プレゼン
テーマ

富士通グループの持続可能な社会の実現に向けた取り組み

富士通は「イノベーションによって社会に信頼をもたらし、世界をより持続可能にする」とのパーパスを掲げ、2030年に「デジタルサービスによってネットポジティブを実現するテクノロジーカンパニーになる」ことを目指します。お客様やパートナーと社会課題を解決し、自らも環境負荷低減に努め、サステナブルな成長を追求します。